

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	美術博物館管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	美術博物館		包含する細々目	1	10	5	6	10	1	81,960
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	63 地域資産の保存継承											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	飯田市美術博物館条例、飯田市美術博物館条例施行規則						
		事業期間	1	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・美術博物館所蔵の美術品 ・美術博物館の施設	所蔵の作品数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			2665			
		施設の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			3		3	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・美術博物館所蔵の美術品を保管し、展示する。 ・日々施設内外の清掃、設備器具の点検していただき、貴重な作品が活用できる状態にする。	施設の運営、管理する人員	18目標	50	最終目標		
		18実績	50	19目標	50	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	美術博物館の管理運営経費 館施設設備の維持管理を行う <参考>細々目名:美術博物館管理費	・顧問料・美博協議会・評議員会の委員報酬と旅費・蛍光灯、レフランプ等の消耗品・燃料費、光熱水費・展示監視員、日夏館、柳田館の監視員の賃金・スケジュール表、テラス、プラネタリウムチラシ、観覧券等の印刷・館、機械等の修繕・施設維持管理委託料、使用料・各種加盟組織の負担金	管理経費 千円 開館日数 日	61,595 285
	18年度の実績			
	19年度計画	・顧問料・美博協議会・評議員会の委員報酬と旅費・蛍光灯、レフランプ等の消耗品・燃料費、光熱水費・展示監視員、日夏館、柳田館の監視員の賃金・スケジュール表、テラス、プラネタリウムチラシ、観覧券等の印刷・館、機械等の修繕・施設維持管理委託料、使用料・各種加盟組織の負担金	管理経費 円 開催日数 日	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	784	639
一般財源	59,216	81,321	
事業費計(A)	60,000	81,960	
人件費	正規職員所要時間	18年度 19,000	19年度 19,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	67,944	67,944
	トータルコストA+B	127,944	149,904

特定財源内訳や補足事項	美術博物館観覧料 コピーサービス 美術博物館施設使用料
-------------	-----------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保存・継承される(活かし続ける)	保存・継承されている地域資産の数(件)	現状値	486	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
美術博物館は、市制50周年を機に、郷土出身の日本画の巨匠菱田春草を記念、顕彰する美術館と「伊那谷の自然と文化」をテーマとした、人文・自然の博物館を、合体した施設である。また、プラネタリウムを併設しているのも特徴である。平成元年10月に開館し、まもなく20年を迎えようとしている。	開館後、18年を経過し、施設の老朽化が著しい。空調設備については、環境省のまほろば事業の補助金を受け、18年度に更新することができた。そのほか、プラネタリウム、雨漏り等不具合が生じてきているので、施設の大規模な改修に関して、長期計画を策定する必要がある。	美術博物館の運営方針はどうあるべきか検討している。(指定管理者制度導入も視野にいれて)

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) ・地域文化、芸術品の保存を対象にしているため。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) ・飯田下伊那の美術、人文、自然の拠点としての役割が果たせなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) ・地域文化の継承		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) ・当館は独自のものである。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) ・収入に対して、維持管理経費がかかりすぎる。		効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由) ・運営、管理方法の検討
			公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) ・市民、郡国民	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	施設の維持修繕について、長期的な計画を立てて対処する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	・開館から20年となり、施設・機器のなかには耐用年数を越える時期にさしかかるものがある。 ・常時メンテナンスを怠らず、早期に対処する。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	